

関 係 各 位

〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町 10-6

一般財団法人 日本環境衛生センター
理事長 南川秀樹（公印省略）

災害時・避難所衛生リーダー養成 デモンストレーション講座開催のご案内

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年は、大阪北部地震、西日本豪雨、北海道胆振東部地震、台風21号及び24号の上陸など、災害が多く発生しました。

災害による被害で亡くなった方がいる一方で、日常と異なる避難所、避難生活のなかで肉体的、精神的な負担が増し、災害（震災）関連死が発生している現実があります。復興庁の「東日本大震災における震災関連死に関する報告」（震災関連死に関する検討会、平成24年8月21日）の資料によりますと、1,263人について関連死の原因を調査した結果、最も多いのが、「避難所等における生活の肉体・精神的疲労」（638件）となっていて、亡くなった方1,263人の死因の51%に該当します。このことから、避難所の生活環境が震災関連死につながることを読み取れます。

前記報告のなかでは、「『助かった、助けられた命』の中で、お亡くなりになった方がいることを真剣に受け止め、将来の災害に向けた対応策等を検討する必要がある」と述べられています。当センターでは、避難所の衛生対策や災害関連死問題などについて、新たな講座の立ち上げの検討を進めております。

新講座「災害時・避難所衛生リーダー養成講座」は、都道府県、避難所の運営主体である市区町村を中心に、人の命・健康と密接に関係する避難所の衛生に、必要な視点、知識、考え方を身につけた人材をつくる講座です。当センターから各自治体へ出張して、防災・危機管理担当者をはじめ、避難所開設者、避難所運営者、保健師、保健所環境衛生監視員、地域の自主防災組織などの皆様を対象に、1日研修プログラムを提供いたします。災害ごみ・し尿の管理、感染症対策やトイレの衛生等の避難所の衛生対策について、講義、ワークショップで学んでいきます。

今回は、別紙のとおり、講座の意義、内容を知っていただくため、講座の一部を抽出したデモンストレーション講座（半日）を無料で開催いたします。人数に限りがございますが、皆様のご参加をお待ちしています。

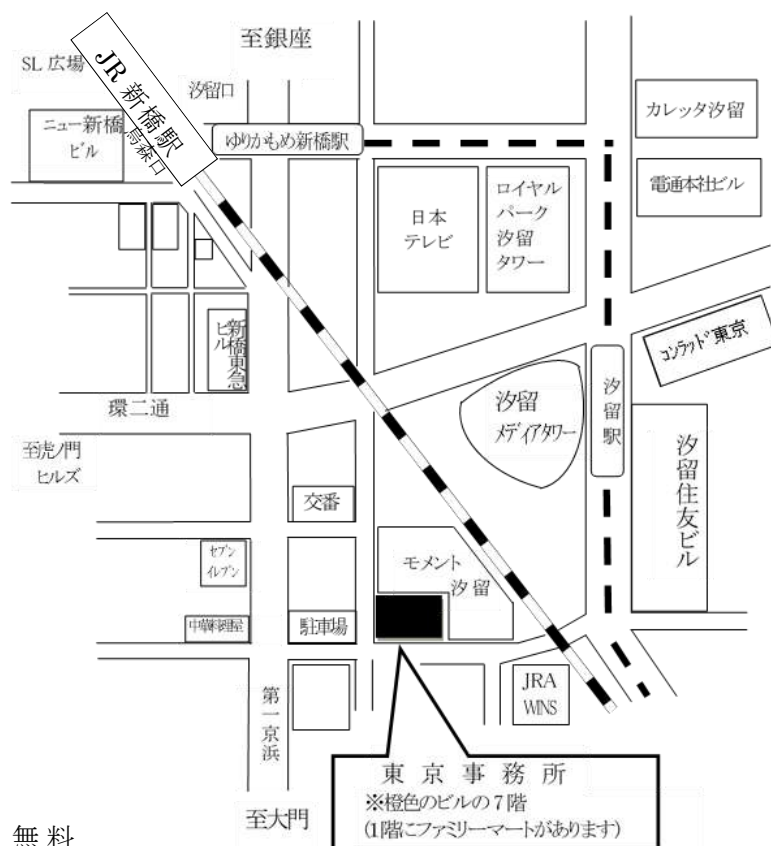
【開催日時】異なる内容で2回開催、第1回：2019年7月10日（水）
第2回：2019年7月18日（木）

【開催場所】一般財団法人日本環境衛生センター・東京事務所

☆所在地等 所在地：〒105-0021 港区東新橋2丁目3番14号
ビル名：エディフィチオ トーコー 7F 702号室
電話：03-5405-4177

☆交通アクセス・都営大江戸線・ゆりかもめ「汐留駅」10番出口より徒歩3分
・JR・都営浅草線・東京メトロ「新橋駅」烏森口より徒歩5～7分
・都営浅草線・都営大江戸線「大門駅」A2出口より徒歩7分

☆略地図



【費用】 無料

【募集人数】 自治体職員・各回30名（申込順、全回を通して各自自治体1名とさせていただきます。）
希望回を、第1希望、第2希望として申込書にご記入ください。
相談会での相談をご希望の場合、その旨を申込書にご記入ください。

【受講申込】 受講申込書に受講者名、所属、住所、電話番号、受講希望回等をご記入のうえ、
FAXでお送り下さい。後日、受付書をFAXいたします。

〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6

一般財団法人 日本環境衛生センター 環境生物・住環境部環境生物課
(担当) 中臣昌広 (なかとみ)

TEL 044-288-4878

FAX 044-288-5016

E-mail masahiro_nakatomi@jesc.or.jp

【アンケート】 受講者の皆様に、A4・2ページほどのアンケートにご協力をお願いします。

第1回 7月10日（水）

*都合により、講師、内容が変更になる場合があります。

13:00～13:30 受付

13:30～13:35 開講式、オリエンテーション

13:35～14:35 ☆避難所と健康危機管理（1時間、質疑応答10分含む）

＜国立病院機構・災害医療センターDMAT事務局 千島佳也子先生＞

（講師紹介）

国立病院機構・災害医療センターのDMAT事務局のご所属です。
大学医学部公衆衛生学教室で、災害時の公衆衛生を研究課題として取り組んでいらっしゃいます。

講義では、避難所で起こり得る衛生上の問題に対して、行政がどのような準備、取り組みをしたらよいのかについて、DMAT活動を通して浮かび上がる問題点から考えていきます。

14:45～15:55 ☆災害ごみ、し尿の管理（1時間10分）

＜一般財団法人日本環境衛生センター 森田 昭＞

（講師紹介）

日本トイレ研究所「災害時トイレ衛生管理講習会・浄化槽・し尿収集の仕組みと災害対応」講師。開発途上国の現場では、トイレ設置、衛生管理、し尿廃棄物の処理等の助言指導をしています。

講義では、災害し尿ごみを中心に、災害用トイレの種別、設置、下水道や浄化槽の構造など基本知識のほか、災害時に起こる、避難所でのトイレの汚染やし尿の管理・運搬・処理、トイレの衛生管理にどう対処するかを学びます。

15:55～16:15 講座の説明、アンケート記入、閉講式

16:15～16:55 相談会

「災害時・避難所衛生リーダー養成講座」研修プログラムについてのご質問のほか、衛生動物問題なども含め現在のお困りごとなど、今回の講座に関わること以外につきましても、ご相談にお応えいたします。

第2回 7月18日(木)

*都合により、講師、内容が変更になる場合があります。

13:00～13:30 受付

13:30～13:35 開講式、オリエンテーション

13:35～14:35 **★避難所と健康危機管理** (1時間、質疑応答10分含む)

＜東海大学医学部臨床薬理学講座・教授 金谷泰宏先生＞
(講師紹介)

行政の医師・保健師を中心とした災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の研修計画、研修開催を統括されてきました。西日本豪雨被災地には初めてDHEATが派遣され、新たな知見を集約されています。

講義では、避難所で起こり得る衛生上の問題に対して、行政がどのような準備、取り組みをしたらよいかについて、DHEAT活動を通して浮かび上がる問題点から考えていきます。

14:45～15:55 **★避難所の衛生対策、講義とワークショップ** (1時間10分)

＜一般財団法人日本環境衛生センター 中臣昌広＞

(講師紹介)

文京区防災課衛生アドバイザー。保健所・環境衛生監視員32年の行政経験のなかで、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨の被災地で地元の保健所や保健師に協力して避難所衛生対策活動をしてきました。

講義とワークショップを通して、避難所における水の衛生、空気環境の衛生、ごみの管理、ダニ・カビなど寝具の管理、トイレの衛生管理、虫・ネズミの対処など、起こり得る問題と具体的な対応を学びます。

15:55～16:15

講座の説明、アンケート記入、閉講式

16:15～16:55 **相談会**

「災害時・避難所衛生リーダー養成講座」研修プログラムについてのご質問のほか、衛生動物問題なども含め現在のお困りごとなど、今回の講座に関わること以外につきましても、ご相談にお応えいたします。

災害時・避難所衛生リーダー養成デモ講座 受講申込書

(郵送・FAX共通)

一般財団法人 日本環境衛生センター 宛

FAX:044-288-5016

(ふりがな)

受講者名 _____ (職種: _____)

勤務先名

(部課係含む)

勤務先住所 〒

連絡先電話番号 _____

FAX番号 _____

第1希望 _____ 第2希望 _____
第 回 _____ 第 回 _____ に受講希望します。

相談会での相談を、 _____ 希望します。 _____ 希望しません。

(○をつけてください。)

ご相談いただく内容が固まっていたら、お書きください。

[]